



道の駅うきはで、恒例の「かかしコンクール」

秋の風物詩「かかし」を飾り農村風景の素晴らしさを伝えようと「第8回かかしコンクール」が、11月末まで道の駅うきはで開催されました。31作品が飾られた展望デッキからは、7月の豪雨により山肌が削られた朝倉市の山々も目に入ります。災害からの復興支援をテーマにした作品も飾られていて、かかし達は製作者の被災地への思いを無言のうちに伝えていました。



- ▲ 道の駅うきはに加工品を出荷する生産者の会による作品です。朝倉市の災害現場で、割烹着姿の焚き出しボランティア（写真右から3体）が、被災者や災害ボランティアに「どうぞ、召し上がれ」と、食事を提供する様子が表されています。